

「釧路湿原自然再生協議会」

第 17 回 湿原再生小委員会

資 料

平成 28 年 11 月 29 日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

釧路湿原自然再生協議会

－ 第 17 回湿原再生小委員会 －

日時：平成 28 年 11 月 29 日（火） 13：30～15：30

場所：釧路地方合同庁舎 5 階 共用第一会議室

----- 議 事 次 第 -----

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) 幌呂地区湿原再生事業について
 - ・ 事業実施箇所の状況報告について
 - ・ 今年度の工事予定について
 - ・ 地域との連携について
 - 2) 達古武湖自然再生事業について
 - ・ 今年度における調査実施状況等について
3. その他
 - ・ 広里地区自然再生について
 - ・ 連絡事項等
4. 閉 会

----- 配 付 資 料 -----

- ・ 第 17 回湿原再生小委員会資料・・・資料－ 1
- ・ 出席者名簿
- ・ 座席表
- ・ 平成 28 年 8 月出水について・・・資料－ 2
- ・ 幌呂地区湿原再生について・・・ 資料－ 3
- ・ 達古武湖自然再生について・・・ 資料－ 4
- ・ 広里地区自然再生について・・・ 資料－ 5
- ・ 第 16 回湿原再生小委員会ニュースレター

--釧路湿原自然再生協議会 湿原再生小委員会 委員名簿--

計：55名

■個人(28名)

(敬称略、五十音順)

No	氏 名	所 属
1	石岡 透	
2	伊藤 毅	上智大学
3	植村 滋	北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター
4	加藤 ゆき恵	釧路市立博物館
5	金子 正美	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 教授
6	亀山 哲	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態系機能評価研究室 主任研究員
7	神田 房行	北方環境研究所所長
8	木村 勲	
9	櫻井 一隆	
10	清水 信彦	
11	新庄 興	
12	新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター技術委員長 (環境ファシリテーター)
13	杉澤 拓男	
14	杉山 伸一	環境カウンセラー(市民部門)
15	竹中 康進	
※	16 照井 滋晴	特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG 代表
	17 中村 隆俊	東京農業大学 生物産業学部 講師
	18 中村 太士	北海道大学大学院 農学研究院 教授
	19 野本 和宏	釧路市立博物館
※	20 針生 勤	一般財団法人 釧路市民文化振興財団 生涯学習推進アドバイザー
	21 平間 清	(有)平間ファーム
	22 松本 文雄	
	23 三上 英敏	道総研 環境科学研究センター 情報・水環境グループ
	24 矢部 和夫	札幌市立大学 教授
	25 山田 浩之	北海道大学大学院 農学研究院 講師
	26 吉野 邦彦	筑波大学システム情報系教授(社会工学域都市計画分野)
	27 若菜 勇	阿寒湖畔エコミュージアムセンター マリモ研究室
	28 渡辺 剛弘	上智大学

※新規登録

■団体(18名)

(敬称略、五十音順)

No	団体/機関名	代表者名
1	釧路川カヌーネットワーク	会長 小川 清史
2	釧路国際ウエットランドセンター	理事長 蝦名 大也
3	釧路自然保護協会	会長 神田 房行
4	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 山岸 彬
5	釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 蝦名 大也
6	公益財団法人 日本生態系協会	会長 池谷 奉文
7	公益財団法人 日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	チーフレンジャー 原田 修
8	公益財団法人 北海道環境財団	理事長 小林 三樹
9	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
10	塘路ネイチャーセンター	センター長 鷺見 祐将
11	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香
12	特定非営利活動法人 釧路湿原やちの会	理事長 杉山 伸一
13	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
14	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道
15	国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所水環境保全チーム	上席研究員 新目 竜一
16	北海道標茶高等学校	校長 生田 仁志
17	北海道プロフェッショナル フィッシングガイド協会	会長 テディ 齋藤
18	ボランティアネットワークチャレンジ隊	代表 佐竹 直子

■オブザーバー(3団体)

(敬称略)

No	団体/機関名	代表者名
1	標茶町農業協同組合	代表理事組合長 高取 剛
2	釧路丹頂農業協同組合	代表理事組合長 武藤 清隆
3	鶴居村商工会	会長 大津 泰則

■関係行政機関(6機関)

(敬称略)

No	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 梅沢 信敏
2	環境省 釧路自然環境事務所	所長 安田 直人
3	釧路市	市長 蝦名 大也
4	釧路町	町長 佐藤 廣高
5	標茶町	町長 池田 裕二
6	鶴居村	村長 大石 正行

湿原再生小委員会の検討経過 (1)

	議事
第1回 H16. 2. 17	<ol style="list-style-type: none"> 1) 全体構想と小委員会との関わりについて 2) これまでの調査・検討経緯について <ol style="list-style-type: none"> (1) 広里地区湿原再生について (2) 幌呂川地区湿原再生について (3) 雪裡樋門湛水試験について 3) 今後の調査・検討方針について
第2回 H16. 6. 25	<ol style="list-style-type: none"> 1) 平成15年度の調査・検討成果について 2) 平成16年度以降の調査・検討方針について 3) 全体構想との関わりについて
第3回 H17. 5. 11	<ol style="list-style-type: none"> 1) 小委員長選出について 2) H16年度調査検討結果とH17年度調査検討計画について <ol style="list-style-type: none"> (1) 釧路湿原の面積について (2) 釧路湿原全域動植物調査の概要 (3) 広里地区 (4) 幌呂川地区 (5) 関連する農業整備事業について (6) 雪裡樋門地区
第4回 H20. 3. 3	<ol style="list-style-type: none"> 1) 幌呂地区の変遷と現状 2) 幌呂地区で生じた現象と課題 3) 幌呂地区の湿原再生目標の設定 4) 広里地区の湿原再生
第5回 H21. 3. 18	<ol style="list-style-type: none"> 1) 幌呂地区の湿原再生目標の概要 2) 幌呂地区 平成20年度の調査結果 3) 平成21年度の予定
第6回 H22. 9. 2	<ol style="list-style-type: none"> 1) 幌呂地区湿原再生について 2) 広里地区湿原再生について 3) 釧路湿原の面積について 4) 5年目の施策の点検について
第7回 H23. 1. 19	<ol style="list-style-type: none"> 1) 幌呂地区現地植生回復試験について 2) 幌呂地区湿原再生について 3) 5年目の施策の振り返りについて
第8回 H23. 4. 27	<ol style="list-style-type: none"> 1) 幌呂地区現地植生回復試験について 2) 幌呂地区湿原再生のリファレンスサイトについて
第9回 H23. 10. 20	<ol style="list-style-type: none"> 1) 幌呂地区湿原再生（基本方針）について 2) 幌呂地区湿原再生（実施方針）について 3) モニタリング計画について 4) 広里地区自然再生について（旧農地区域の湿原への再生、ハンノキ林の取扱いの検討） 5) 釧路湿原の面積について
第10回 H24. 1. 18	<ol style="list-style-type: none"> 1) 幌呂地区湿原再生実施計画（案）について 2) 達古武湖における自然再生の取り組みについて 3) 釧路湿原の面積について

湿原再生小委員会の検討経過（2）

	議事
第 11 回 H24. 11. 8	1) 幌呂地区湿原再生における今年度の実施予定等について 2) 達古武湖自然再生事業実施計画（案）について 3) 広里地区湿原再生事業実施計画の策定について
第 12 回 H25. 1. 24	1) 幌呂地区湿原再生における未利用排水路の埋め戻しについて 2) 達古武湖自然再生事業実施計画（案）について 3) 広里地区自然再生における今年度調査実施状況について
第 13 回 H25. 12. 2	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査等と南部湿地対策工事の概要について
第 14 回 H26. 1. 28	1) 広里地区湿原再生について
第 15 回 H26. 12. 24	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について 3) 広里地区自然再生における今年度事業内容について
第 16 回 H27. 12. 18	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について

第 16 回湿原再生小委員会の発言概要と今後の検討方針（案）

項目	発言概要	回答および今後の対応方針（案）
幌呂地区湿原再生について	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング結果より、切下げた箇所は結構冠水している。常時冠水している状態はヨシ群落にとって良い状況であるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 冠水期間が長いものの、降雨が少ない時期に地下水位が下がり、現地では地表面が出てきている。この繰り返しで湿原状態が保たれていると考えている。ヨシは冠水しているところでも生育できる植物のため、ヨシ群落にとって問題ない環境であると考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> 再生事業区域内に設置されている暗渠上は植生が異なっている。 暗渠で地下水が排水されると、乾燥化の原因にもなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度地盤切下げ工事区域内に埋設されていた暗渠の撤去作業を行った。 今後も事業を実施する箇所において排水路に接続している暗渠がある場合、対応していく。
達古武湖自然再生について	<ul style="list-style-type: none"> 栄養塩流入抑制は、地下水の結果を見ると上手くいかなかったと判断して良いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の調査結果は、天候による振れ幅が原因と認識している。モニタリング数が少ないので来年以降も引き続き継続して調査を実施していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ウチダザリガニについて調査を実施しているが、捕獲方法、捕獲時期、捕獲時間、今後定点観測を実施していくのか教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 8 月の 2 回目の刈り取りの直前に実施している。捕獲時間は一昼夜（午後 4 時～明朝 9 時頃迄）となっている。各地点に網カゴを入れ中に餌（スルメ）を入れて実施している。ヒシを制御し、その他の水生植物を回復させることが目的であることから、制御区での観測は今後も継続する予定で考えている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 昨年の全体構想の見直し時にも意見が出ていたが、「わかりにくい」という意見があった。今日の議事でもそうだったが、全体目標が何だったのか、今年の目標は何だったのか、目標に対してどの程度達成できたのか等の話が前にあると、ずっと内容が入りやすいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の点を踏まえて全体の内容が分かるよう工夫していきたい。